

横浜開港資料館 平成 31 年度第 1 回企画展示

カメラが撮らえた横浜

— 古写真にみる開港場とその周辺 —



ベアト 山手から見た居留地 当館所蔵

山手方面より開港場の東側にあたる居留地をのぞんだもの。

沖合には多数の外国船が停泊している、下部を左右に流れる川は堀川である。

1. 展示会期など

会 期: 平成 31 年 4 月 27 日(土)～7 月 15 日(月・祝)

会 場: 横浜開港資料館 新館 企画展示室

開館時間: 9:30～17:00(入館は 16:30 まで)

5 月 25 日(土)、6 月 2 日(日)、28 日(金)は、展示室のみ 19:00 まで開館
(入館は 18:30 まで)

入 館 料: 一般 200 円、小中学生 100 円

5 月 25 日(土)、26 日(日)、6 月 2 日(日)は入館無料

休 館 日: 月曜日(但し 4 月 29 日、5 月 6 日、7 月 15 日は開館)、5 月 7 日(火)

* 6 月 4 日(火)は展示資料替えのため、本展示をご覧いただけません。

主 催: 横浜開港資料館

共 催: 横浜市教育委員会

後 援: 朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、
毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk

協 力: 横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会

2. 展示趣旨

横浜開港 160 周年記念の企画展示第 2 弾として、開港直後から明治初年にかけて横浜へ来た外国人によって撮影された「古写真」により開港場横浜とその周辺の風景を紹介します。初めて横浜の地を訪れた人々が、何に興味を持ち、その土地の風景や人々をどのように感じたのかを、日本人の絵師が描いた絵地図や鳥瞰図等と対比しながら考えます。

3. 展示構成

- 1 開港場・居留地の情景
- 2 開港場の周辺
- 3 周辺の名所をめぐる
- 4 開港場を一望する
- 5 開港場横浜

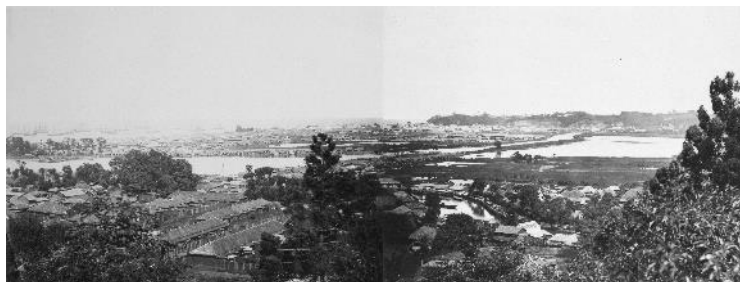
4. おもな展示資料、みどころ（全展示数 約 120 点）

- ・ 山手からのぞむ開港場（部分）
文久 3 年（1863） 当館所蔵



文久 3 年 7 月頃に撮影された、開港場全体を撮影した写真の一部。
建物を建設中の旧横浜新田地域（現在の中華街）越しに外国人居留地をのぞむ構図。

- ・ ペアト 野毛山から見た開港場 当館所蔵



野毛山より中央の開港場とその周辺をのぞんだもの。
右下側を流れる川は大岡川。右手に広がる沼地は吉田新田の南一つ目沼である。

5. 展示関連事業

展示関連講座

展示担当者によるテーマごとの解説講座です。

第 1 回 5 月 18 日（土）「古写真にみる開港場」

第 2 回 6 月 15 日（土）「吉田新田と神奈川宿」

第 3 回 7 月 6 日（土）「横浜周辺の名所」

時間： 各回 14:00～15:00 会場： 当館講堂

受講料： 各回 200 円 定員： 各回当日先着 80 名

展示案内

展示担当者による企画展示室案内です。

第 1 回 5 月 11 日（土） 14:00～、第 2 回 6 月 2 日（日） 18:00～

第 3 回 6 月 28 日（金） 18:00～、第 4 回 7 月 13 日（土） 14:00～

各回 30 分程度で、事前申込不要です。入館券をお持ちの上、企画展示室入口にお集まりください。

○横浜セントラルタウンフェスティバル Y160 参加プログラム○

開催日の 5 月 25 日（土）、26 日（日）および開港（開館）記念日の 6 月 2 日（日）は入館無料です。

お問合せ先			
横浜開港資料館	副館長・展示担当	齊藤 司	TEL 045-201-2100

* 画像データをご要望の場合は、田中（広報）へご連絡ください。